

「学習と部活動の両立」に取り組む、大村高校の様子をお知らせします。



大高インフォメーション

ホップステップ JUMP!

〒856-0835 長崎県立大村高等学校 大村市久原 1-591 TEL:0957/5212660

<https://www.news.ed.jp/omura-h/>

祝 大高生の止まらぬ活躍



グローバルサイエンティスト
アワード “夢の翼”
文部科学大臣賞
(最優秀賞)

「落ち葉の秘密
～なぜ落ち葉は裏向きが多いのか～」
理科部 本村 かんな (2年1組 西大村中出身)

第35回
全国高等学校
文芸コンクール

→ 文芸部誌部門 ←
優良賞(全国4位)

大高文学
『蝉時雨』第90号

SSH指定3年目の今年度は、本校生徒が積極的にコンテストや発表会など外部へ研究成果を発表する場面が大幅増！！実績に参加できるオンラインでの発表は今後も多く開催されることが予想されます。是非、多くの生徒諸君が参加して欲しいと思います。特に1年生は、2・3年生の頑張りを手本にそれを追い越すように取り組んでいきましょう。

以下に今年度本校生徒が発表・応募（予定含む）した主な科学研究関連の発表会等を掲載しました。

- ・多摩科学技術高等学校発表会（2班3名）
- ・県科学研究発表大会（3班5名：理系科以外も応募可）
- ・サイエンスインカレ（1名）
- ・奈良女子大学サイエンスコロギウム（3班7名）
- ・日本物理学会Jrセッション（1名）

- ・グローバルサイエンティストアワード（1名）
- ・長崎大学サイエンスファイト（5班12名）
- ・WML-SGH × 探究甲子園（1班2名：文系可）
- ・CIEC春季カンファレンス（2班4名）
- ・つくばサイエンスエッジ（3月中下旬開催予定）



凡事徹底

長崎県立大村高等学校
校長 原 喜 紀

月日が経つのは早いもので、今年も残り少なくなりました。生徒・保護者の皆様にとって今年1年はどういう年だったでしょうか。多くの生徒にとって、今年はこれまで経験したことないような事を経験し、特に3月からは試験の毎日だったと思います。その中で、生徒一人一人が学習、部活動、学校行事とよく努力してくれました。部活動では、今回紹介しているように、多くの運動部や文化部が各大会で、活動の成果を十分に發揮してくれており、今後の活躍に期待が高まります。

そこで、今年1年間を振り返って新年を迎えるにあたり、「凡事徹底」について考えてほしいと思います。「凡事徹底」とは、「何でもないような当たり前のこと」を人が真似できないほど徹底的に行う」ということで、本校の教育スローガンの一つにも掲げています。日頃から、今やるべきことや当たり前にやるべきことを、一步一步地に足をつけて取り組む姿勢を持ち続けてほしいのです。

私は、若い時に山岳部の顧問として、生徒と一緒に県内外のいろいろな山を登りました。登山経験が無い私は、最初はハイキングのような楽しさをイメージしながら顧問を引き受けたものの、実際は20キロ近くの荷物を背負いながら何時間もかけて山頂を目指す大変さや急な荒天に対応しなければならない苦労も数多くありました。しかし、山頂を極めた達成感とそこからの眺めに感動を覚えることもしばしばで、そんな魅力にひかれていました。

一方で、もう一つの山の素晴らしい景色は、歩みを止めず着実に歩みを進めれば必ず山頂に立つことができるなどということを実感しました。雨が降ろうと、風が吹こうと、たとえ苦しくても人より遅い歩みでも、当たり前のようにな踏み出せる一步を踏み重ねていく、そんな一步を大事にする人には山は裏切ません。

学校の日常は、山登りの一歩一歩に似ていると思っています。朝の挨拶から始まって、授業、掃除、部活動、学校行事など、今するべきことに真摯に取り組むこと、それが皆さんをより高い所に到達させる、ゴールに導く原動力になると思っています。一つ一つ普段に毎日やるべきことを実直に続ける、こういう努力を続けた人は、山頂に着き、高い所から見える景色が違うように、ゴールに着いた時、今までと違う景色を感じることができるでしょう。

間もなく迎える令和3年に思いを馳せ、しっかりやるぞとの思いで、希望に満ちた新年を迎えてください。

長崎総合科学大学・長崎ウエスレヤン大学・活水女子大学との連携協定を締結しました

本校と長崎総合科学大学、長崎ウエスレヤン大学、活水女子大学との間で連携協定を締結しました。これは、本校のSSH研究開発を通して高校教育・大学教育の活性化を図り、地域社会の発展と未来社会を創りゆく人材の育成に寄与することを目的として行うものです。これにより、学校設定科目「SSH研究Ⅱ A~C」や理科部の研究活動等において、各大学の先生方や学生の皆さんのご協力のもと、専門的な立場からのアドバイスをいたる環境を整えることができました。本校は全校生徒が、各自で設定したテーマに沿って課題探究に取り組んでいますが、今後その深まりが期待されます。



▲長崎総合科学大学
(学長 浅上 順一 様と副学長 大山佳恭 様とともに)



▲活水女子大学
(学長 清口 雄司 様とともに)

▲長崎ウエスレヤン大学
(学長 佐藤 勝也 様と
大学政策室室長 南原 美裕 様とともに)

第1学年 SSH活動紹介

11月12日(木)、第1学年では、終日SSH活動を実施しました。日程は、次の通りです。

- 1～3校時 講座①～⑩の中から1講座受講
- 4 校 時 グループ活動Ⅰ(まとめ、発表準備：4コマプレゼン作成)
- 5 校 時 グループ活動Ⅱ(発表準備：4コマプレゼン作成)
- 6 校 時 グループ活動Ⅲ(発表会、ポートフォリオ作成)

各自が希望する講座で、普段の教科書での授業では学はない内目に、新鮮な気持ちで臨んでいました。

また、4コマプレゼンの発表会は、各クラス順やかに実施されました。開講した講座は、次の10講座です。

番号	教科・科目	担当者	講座内容
1	物理	原口 下川	測定値をもとにしたデータの分析と結果的な表現
2	化学	渕山	物質の分離とその確認
3	生物	堀治	手漉きの骨格標本の作成
4	地学	末吉	大村の地形と地質 一防災の構造を交えて～
5	数学	角田栄	折り紙と数学
6	情報	名切元	大村市の人口減少対策を考える
7	英語	角田幸	英単語の語源とカタカナ英語について
8	英語	ALEX 前田	コロナウィルス 疫学入門と感染防止対策
9	国語	進藤	小説(ショートショート作品)の分析 創作
10	地理歴史	中村昌	大村の歴史 一大村純忠に注目する～



陸上部 県高総体駅伝競技

11月6日(金)、雲仙小浜マラソンコースで高総体駅伝競技大会が行われました。今年度唯一実施された、県高総体競技として注目される大会となりました。次に男・女チーム代表からの言葉を紹介します。

駅伝爆走をしてきました。去年15位以内を目指して16位と厳しい思いをしました。だから今年は、去年のリベンジで目標を15位以内としました。結果は12位。継り上げスターすることなく1本の握を賛美さったうえに結果がついてきたのですぐ嬉しかったです。コロナ禍の中で唯一開催された高総体。感謝の気持ちを忘れていけないと強く感じることができた大会になりました。また、助っ人として走ってくれたサッカーチームの3人、快くOKを出してくれた田川先生、七條先生、本当にありがとうございました。

次の目標は、新人駅伝でもっと上位に食い込むことです。1日1日を大切にしてチームみんなで頑張っています。

(男子 2年1組 大安慶吾)

私たちは1年前に必ずアンカーまでたすきをつなぎ、8位以内に入るといふ目標を立て毎日の練習に励んできました。走つい練習メニューの中でも、背中を押したり声をかけ合ったりしながら成長し、チームワークを高めできました。その成果が表れ今年は目標の8位をゴールすることができ、とても嬉しかったです。これからも切磋琢磨しながらレベルアップし、新人駅伝では上位に入賞できるように頑張りたいです。

(女子 2年7組 渡辺美月)



大会試合結果（県新人戦、県総合文化祭等）

理 科 部 グローバルサイエンティストアワード「夢の翼」

文部科学大臣賞 本村 かんな（2-1、西大村中出身）

令和2年度長崎県高等学校総合文化祭 第26回科学研究発表大会

<□頭発表の部> 生物分野 最優秀賞 河原 正堂（2-4、大村中出身）、太田 誠也（2-1、葦原中出身）

物理分野 最優秀賞 本村 かんな

<展示発表の部> 優秀賞 川田 匠人（1-1、諫早中出身）

文 芸 部 第35回全国高等学校校芸コンクール

<文芸部部門> 優良賞 大高文学『蝶時雨』第90号 ※全国4位の賞です

第44回全国高等学校総合文化祭

<文芸部門> 文化連盟賞

令和2年度長崎県高等学校総合文化祭

<部詠部門> 最優秀賞 大高文学『蝶時雨』第90号

<短歌部門> 最優秀賞 北森 詩織（1-8、諫早中出身） 優秀賞 浦 友希乃（1-2、川棚中出身）

<詩部門> 優良賞 福本 実理（2-7、諫早中出身）

<俳句部門> 最優秀賞 浦 友希乃（1-2）

水 泳 部 令和2年度長崎県高等学校新人体育大会

<男子100m平泳ぎ> 第1位 保利 開汰（1-2、西大村中出身）

<男子200m平泳ぎ> 第2位 保利 開汰（1-2）

陸 上 令和2年度全九州高等学校体育大会新人陸上競技大会

<男子400m> 第1位 河内 祥吾（2-7、諫早中出身）

<男子200m> 第6位 河内 祥吾（2-7）

ソ フ ト テ リ ネ 斧 令和2年度長崎県高等学校新人体育大会

<団体> 第3位

<個人> 優勝 吉次 莜沙（2-6、玖島中出身）、松尾 聰勝（2-8、東長崎中出身）

令和2年度長崎県高等学校ソフトテニス競技団体選抜大会

<女子の部> 第2位

山 岳 令和2年度長崎県高等学校新人体育大会

第2位 柿本 紗弥（1-1、諫早中出身） 金子 高園（1-1、桜が原中出身）

田村 亜子（1-3、桜が原中出身） 韶平 乙羽（1-5、桜が原中出身）

漬 級 部 令和2年度長崎県高等学校新人体育大会

<少年男子混合> 優勝

<少年男子舵手付きクオドルフル>

第1位 草野 太貴（2-4、西大村中出身） 服部 傑大（2-4、西大村中出身） 大原 匠（2-7、西大村中出身）

坪森 省吾（1-3、諫早中出身） 元木 透也（1-6、玖島中出身）

第2位 田川 脇（2-1、諫早中出身） 森 昙兒（2-4、大村中出身） 松尾 匠馬（1-2、玖島中出身）

鳥居 歩（1-2、諫早中出身） 石松 勇斗（2-6、大村中出身） 鶴川 愛也（2-4、大村中出身）

<少年男子タブルスカル> 第2位 内田 空（2-5、諫早中出身）

<少年男子シングルスカル> 第3位 高山 伸（2-6、諫早中出身）

<少年女子組合> 優勝

<少年女子舵手付きクオドルフル>

第1位 西村 ひなた（2-8、佐世保中出身） 寺尾 茂音（2-2、大村中出身） 乗原 望（2-8、西大村中出身）

尾上 真衣（2-8、東彼杵中出身） 鹿本 歩里（2-1、桜が原中出身）

第2位 市瀬 結構（1-5、佐世保中出身） 福田 さくら（2-2、桜が原中出身） 大串 菜奈（1-5、桜が原中出身）

田中 実弥（1-8、大村中出身） 前川 錦華（2-3、桜が原中出身）

<少年女子タブルスカル>

第1位 菅原 真由子（2-5、明峰中出身）

第2位 下平 桃花（2-2、諫早中出身）

<少年女子シングルスカル> 第1位 金崎 優利菜（2-6、諫早中出身） 羽田 奈乃加（2-5、桜が原中出身）

第2位 中島 みのり（2-8、明峰中出身） 本多 晴乃（2-1、桜が原中出身）

第32回全国高等学校選抜競漕大会

<男子舵手付きクオドルフル>

第3位 菅野 太貴（2-4） 服部 傑大（2-4）

大原 匠（2-7） 元木 透也（1-6）

<女子舵手付きクオドルフル>

第3位 西村 ひなた（2-8） 寺尾 茂音（2-2）

尾上 真衣（1-8） 鹿本 歩里（2-1）

桑原 望（2-8）

弓 道 部 令和2年度第39回全国高等学校弓道選抜大会

<男子団体> 第3位

放 送 部 第44回全国高等学校総合文化祭

<アナウンス部門> 優秀賞 山口 雄大（3-7、千鶴中出身） ※全国トップの賞です

令和2年度長崎県高等学校総合文化祭 第42回九州高校放送コンテスト県央地区大会

<アナウンス部門> 優秀賞 永井 風莉（2-6、小野中出身） 高原 瑞々華（2-7、西諫早中出身）

<朗読部門> 優秀賞 朝衣（2-3、西大村中出身） 平原 七海（2-6、玖島中出身）

岩永 美咲（1-4、大村中出身） 黒川 銀杏（1-7、玖島中出身）

令和2年度長崎県高等学校総合文化祭 第42回九州高校放送コンテスト長崎県大会

<アナウンス部門> 優良賞 永井 風莉（2-6）

弁 論 部 令和2年度長崎県高等学校総合文化祭

<弁論部門> 優秀賞 永尾 真臣（1-2、波佐見中出身） ※全九州高等学校総合文化祭本大会出場

音 楽 部 長崎県高等学校音楽コンクール

<声楽部門> 金賞 江藤 優美（2-2、桜中出身）

<金管楽器部門> 銀賞 出口 優芽（2-7、大村中出身）

数理探究科 活動紹介

多良山系自然観察会

10月29日(木)、数理探究科1年生は、爽やかな秋晴れに恵まれる中、多良山系の自然観察会(黒木から金童寺の往復)を実施しました。目的は、山野の植物と森林の構造や希少種を観察することで、知識を深め環境保全の意識を高めることです。講師は、本校の雄井利明先生が、務めました。次に、生徒の感想を紹介します。

「ジンジンウサギやガサキシダなど名前の由来や意味を知ることができとても面白かった。」「観察会では、植物が大好きになら、山を歩く楽しさに気づくことができました。初めて知る知識がたくさんあり、もっと勉強したいと感じることができました。」このように、身近な自然に学ぶことは、科学の基本だと感じた1日でした。



英語プレゼン研修会

第2学年

11月18日(木)、数理探究科2年生は、3、4限目に会議室で英語プレゼン研修会を実施しました。課題探究の成果を英語のポスターにまとめ、英語で説明し、英語表現スキルの向上を目的とした数理ならではの企画です。講師として、本校および外部から招いたALTの合わせて4名から指導を受けました。全部で13本のテーマ発表を行い、生徒は慣れない英語で真剣に取り組みました。次に、生徒の感想を紹介します。

「初めての経験で緊張しましたが、ALTの先生方がとても優しくフレンドリーで楽しく活動できました。」「ALTの先生方と英語で会話をできたから楽しい、勉強して英語で話ができるようになりたいと思えるようになりました。」「英語を参考発表するのは、とても大変でしたが、英語を使う、話す楽しさを味わえるとても良い機会になりました。」このように、英語を身近なものとして捉え、英語の学習意欲を高める良い機会になりました。



家政科 活動紹介

福祉のしごと基礎講座

第1学年

9月30日(水)、家政科1年生は、東の里より三名の講師をお招きし、福祉のしごと基礎講座を実施しました。介護の仕事に対して「難しそう」「大変そう」と漠然としたイメージを持っていた生徒も「やりがいのある楽しい仕事」と理解を深めることができました。



ウォークラリー ボランティア

第3学年



家政科3年生は、大村小学校区健全園主催「家庭ウォークラリー」の一環で工芸製作に協力しました。昨年は見守り活動の参加でしたが、コロナの影響で間接的ではありますが、地域活動に参加することができました。

SSH

第2学年

家政科2年生は、毎週金曜日の4校時にSS研究ⅡCの授業で、来年度の課題研究に役立てるよう鳥の図鑑にあるものを利用して、水環境やいろいろな測定方法を考える実験・実習を行っています。



供応食講習会

第3学年

10月27日(火)、家政科3年生は、フードデザインの授業の一環で、椎山典克氏を講師として迎え、イタリア料理の供應食「サーモンのカルトッチャ仕立て、チキン低温調理 チーズソース、かぼちゃのニヨッキ アマトリチャーナ」について学びました。



今里広記賞

9月30日(水)、校内読書感想文コンクールが行われました。全校審査などを経て以下のとおり、各賞が決まりました。受賞された皆さんおめでとうございます。

最優秀賞 (今里広記賞)	『くび削り』を読んで	2年4組 川上 桃葉
優秀賞	猫が教えてくれたこと	2年1組 松崎 美海
	努力のちから	2年7組 四 千奈津
優良賞	知ることで	2年4組 脇長 審奈子
	生きた証	2年4組 松村 麻衣
	輝かいは嘘ではない	1年3組 東 快美



なお、2年4組松村麻衣さんの「生きた証」は長崎県読書感想文コンクールにおいて課題図書の部優良賞を受賞しました。